

第 8 回武蔵野市図書館運営委員会選書部会の記録

日 時	平成 15 年 3 月 19 日 午後 6 時		
場 所	中央図書館 4 階会議室		
出席委員	佐治俊彦部会長	宮部博史委員	浜 俊子委員
	藤井佐和子委員	森川西部図書館長	丸本主任
事務局出席職員	船崎館長	三木副参事	平岡課長補佐
	石井吉祥寺図書館長	岩谷主任	桐原主事

議題及び内容

○ 主な協議内容

選書方法の改善点について

前回の部会で提議があった、以下の項目について、事務局より資料の提出及び説明があり、その内容について協議した。

- T R C ベル、新継続の購入決定方法について
- 見計らいによる購入図書の決定方法について
- 追加発注による購入図書の決定方法について
- リクエスト図書の購入決定方法について
- 外国語図書の選定方針について

なお、主な意見は以下のとおり。

- ・ 財政状況が厳しい中、図書購入予算の削減も予測される。何を優先していくかを常に考え、選書の感覚を養うことが大切である。
- ・ 選書部会を契機として、選書の議論が活発化した意義は大きい。
- ・ 会議をもって決めることは望ましいが、日程調整が難しい面もある。会議至上主義に陥ることなく、客観的な判断ができる仕組み作りをお願いしたい。
- ・ 図書館としては、ベストセラーの複数購入はやめられても、全集をやめるという選択はできない。
- ・ 全集の是非は、個々の全集の内容や性格によりケース・バイ・ケースになるが、購入に際しては、利用状況等を勘案し判断してほしい。なお、利用しやすい配架の工夫もお願いしたい。
- ・ 参考図書についても、どこまで充実していくのか検討する必要がある。
- ・ リクエストについては、市民と近隣利用者の差別化を検討する必要もあるのではないか。
- ・ 外国語図書については、2 ヶ月という期限をきって早急に方針案を出してほしい。

今後の運営について

今回は、「児童書、Y A 図書の選書について」を議題とし、その後、文庫本、新書、コミックス、推理小説等についても議論していくこととなった。